



臨嶺会会報

第37号

2016年春発行

目次

特集

前月号(第36号)近況報告より 「キラッ」「ニヤッ」 同窓生からの投稿	…… 2~5 …… 6	こじ記 松本便り 卒業生の進路	…… 21 …… 22 …… 23
臨嶺会会員の近況報告 退職される教員/新任教員 寺澤文子先生/ 木村文一先生、樋口由美子先生	…… 7~18 …… 19	2015年のできごと 開校50周年記念 臨嶺会総会開催のお知らせ	…… 23 …… 24 …… 24
カミングホーム 短大15回生	…… 20	事務局からのおしらせ 編集後記	…… 24 …… 24

「キラッ」

衛5回生卒

河合涼子さん

【小さな国際交流】

た。私は、タイ語はもちろん英語もできず、知っているタイ語と言えば“サワディーカー（こんにちは）”の一言のみでした。ありがたい事に、彼は日本語を少し勉強してきたので、カタコトの日本語と英語で二泊三日をなんとか無事に、そして楽しく過ごす事ができました。



今から20年前、ちょうど私が結婚を機に関西に移り住んで20年程たった頃、阪神淡路大震災に見舞われました。その時、自分の中で何かが変わり、ボランティアでホームステイの受け入れを始めてみようと考えました。

忘れもしません。私が初めて受け入れたのはタイの研修生でし



尼崎市の姉妹都市であるドイツのアウクスブルク市からは大学生や社会人、プラスバンドの学生など、10回程受け入れました。学生時代、ドイツ語講義で“赤点”を取り、追試を受けた私ですが、あいさつ、自己紹介くらいできるようになり、言葉の壁に臆する事なく、いろんな手段で気持ちを伝える事が重要であることを実感しました。

メキシコの女学生は、両親が日系人でしたので、スペイン語、英語、日本語が堪能でした。彼女は日本が大好きで、今では日本人と結婚し日本で生活しています。そのホームステイが縁で家族ぐるみの付き合いになり、数年後、友人とメキシコに行った際、私はちょうど48歳の誕生日を迎え、現地アカプルコにてみんなに祝ってもらいました。



モスクワにて

ロシアのサマンサ合唱団が大阪の御堂筋パレードやコンサートに参加するために来日しました。その合唱団の団長さんがホームステイしました。ロシア語は初めてで心配でしたが、カタコト英語を使い、あとはハート&ハートで大阪を案内しました。帰国後、その団長さんの家に招かれ、ロシア（サンクトペテルブルグ）にて再会を果たし、エルミタージュ美術館や赤の広場（モスクワ）など、夫とともに訪ねました。



今までに我が家にステイしたのは、チェコ、ブータン、フランス、ドイツ、モンゴル、タイ、オーストラリア、インド、ロシア、中国、韓国、台湾、メキシコ、アメリカの人たちですが、このホームステイを受け入れることにより、行ったことがない国の人たちとお会いする機会が得られ、そして異文化に触れることができ、世界が広がりました。我が家にステイしたみんなに感謝です。

タコフ合唱団との思い出 (チェコ)



チェコのタコフ合唱団のJosef とAlenn 夫妻を我家に受け入れたのは、ホームステイを始めて15年くらいたった頃でした。

私たち家族も都合のつく時は、彼らの演奏会やパレード先まで行ったりしました。また、お土産の買物に同行したり、居酒屋で一杯。地元高校生との最後のジョイントコンサートやさよならパーティー、



空港での見送りなど

忘れられない思い出ができました。ぜひ、近い将来チェコ、タコフを訪れたいと思っております。



三人目の娘



ホームステイの受け入れ期間の中で一番長いのは、3ヶ月(4月～6月)。娘が通っていた高校のオーストラリア留学生ジャスリン 13才です。彼女を受け入れる時は、ホームステイの受け入れを始めてから数年の時でしたので、不安や心配もありました。でも我家には娘が二人います。一人 娘がふえたようなものと思えばと、受け入れました。

ちょうど3月の末に来日したので、桜の開花を楽しみました。着物を着て写真を撮ったり、日本の生活・家庭料理・文化など充分楽しんだようです。

それから8年後に友人と来日した時は12月の寒い時で、雪が舞っていてビックリ、感激していました。

ロシアの音楽家



ロシアの芸術家(音楽家、画家、ピアノ奏者)を日本に招いた時は、音楽家の女性が我家にステイしてくださいました。

奈良公園、東大寺、春日大社への寺社巡り、ロシア領事館でのコンサートなど楽しい秋の日々を過ごしました。

それがきっかけで、主人はロシア語にはまり、勉強を始めました。(60の手習い?)



春日大社にて



奈良公園にて

「ニヤッ」

短22回生卒

東谷（永田）真由美さん

【ふらのメロン】



1. 多い時は胸の高さ以上になる雪を投雪機でぶっ飛ばし、ハウスのビニールをかけていきます。「る～るる～」と呼んでもいないのに珍客が現れることも。



2. 品種によりますが、「接ぎ木」という作業をします。横から刺さっているのがメロンを实らせる枝になり、まっすぐ立っている枝は根っこのみ活躍してもらいます。



3. ハウスの中にもう一つハウスを建て、ビニールを2重に張ります。さらにトンネルの様にビニールを張ってこの中にメロンを植えていきます。



4. 3回ほど整枝作業を行い、ミツバチさんの助けを借りて雌花に受粉します。

臨床検査とは全く関係ない農業の世界のお話ですが、しばしの間視線を拝借致します。

まず、「富良野」と言えば何が思い浮かびますか？「北の国から」「優しい時間」「ラベンダー」「雄大な自然」こんな感じでしょうか？そう、富良野は観光と農業が二大産業の街で、「へその街」と街自ら命名しているほど北海道のど真ん中に存在します。盆地特有の内陸性気候のせいか、はたまた山の囲まれ具合が似ているからか、なんとなく松本市に似たものを感じることがあります。そんな富良野で東京ドーム約5個分の面積に玉ねぎ・米・麦・メロンを作付しています。全ての作物の工程を説明出来ればいいのですが、その器量と気合がないのでメロンをピンポイントに攻めてまいります。



5. 1つの枝にいい実を2つだけ残し、あとはすべてもぎ取ってしまいます。余談ですが、この実を漬物にすると美味しいです。



6. 勝ち残ったいい実にお皿を敷いてあげます。



7. 大きくなろうとして実にひびが入り、その傷を治したものがメロンのネットになります。人間界でいう「妊娠線」みたいなものです。



8. 重さごとに分類して箱詰め・出荷されます。

ものすごく大雑把ですが、こんな感じでメロンは出来あがっています。

農業と臨床検査の共通点を探ってみるとチラホウあります。まず、生化学の基本である「Na・K・Cl」これが農業界では「N・P・K（窒素・リン酸・カリ）」が土壌生化学の基本。また農薬の抗菌剤に「カナマイシン」が使われているものもあつたりします。考えてみれば、人間様のご使用になる抗生剤を人間様が食べる作物の為に病原細菌に感受性が高ければ使用したって問題なければいいじゃないか！って感じですよ。実際はそう簡単ではないのですが・・・。

もっと**農業**の奥深さと魅力をお伝えしたいところですが、文章力の限界です。ここまでお付き合いいただき、ありがとうございました。北海道旅行される時はお立ち寄り下さいませ。



最後に**抽選**で「ふらのメロン1玉入」を3名様にプレゼントさせていただきます。応募方法は、編集後記をご覧ください。

卒業生のみなさんの施設の医療は大丈夫ですか？

元信州大学医学部附属病院
輸血部・移植医療センター
長谷川康久（短1）

2015年3月で信州大学病院を定年退職した今は、認知症の義母の相手と家内の実家での畑仕事など、医療とは関係のない日々を過ごしています。

さて、定年までの8年間は病院長の依頼で長野県臓器移植コーディネーターとして、多くの症例に携わることになりました。そんな症例対応の中で、今も気になっている事があります。

移植医療はドナーから提供された臓器を移植するわけですから、臓器不全の患者には非常に劇的な効果が得られる医療です。それは亡くなった方からの臓器の提供があって成り立つものですが、最善の治療を行ったにもかかわらず救命不能である、つまり、「回復の見込みのない終末期」であることが大前提となります。この事が揺らいでしまうと移植医療は成立しません。ところが患者や家族の臓器提供の意思があるということで医療施設に行き、コーディネーター業務をしているとドナー候補の患者が終末期ではない事が判明したという症例が一度ならずありました。そんな時、この施設の医療は大丈夫かと思ったものです。

以前、私の家族がPET検査等で肝臓に腫瘍があるのが分かり手術適応で準備をしているうちに、腫瘍が消えてしまった事がありました。医師からは肝膿瘍だったのではと説明を受けたことがあります。この時は「良かった、良かった」の笑い話で済みましたが、患者が回復の見込みない終末期であることが前提である臓器提供の場合は、診断の不確実性はより深刻といえます。

検査技師業務の中で脳波検査は脳死診断の必須な検査の一つであり臓器提供に重要な役割を果たしていますが、細菌検査、血液ガス検査、生化学検査など、多くの臨床検査が臓器提供の際には必要になっています。そんな臨床検査に従事している皆さんは、自分が出したデータに自信がありますか。自分が検査した脳波はどのような目的でオーダーされたか自覚していますか。仮に脳波検査に対する医師の診断に疑問を感じた時に自分の意見を言っていますか。コーディネーター業務をしながら、そんな思いを何度感じたことでしょうか。

臓器提供の意思を示していた患者の終末期の診断が撤回された症例の時、患者家族の顔を思い出した私は、何とも言えない気持ちになったものでした。

我々が行っている一つ一つの検査は患者や家族に大きな影響を及ぼす可能性があること、全てが信頼の上に成り立っていることを、今一度、考えてみませんか。

臨嶺会会員の近況報告

衛1
阿部（椎谷）裕子

【My Kitchen Garden】



約20年前から200坪程の畑でいろいろな野菜をつくっています。季節ごとにたくさんの作業があり、忙しい毎日ですが充実しています。自分で作った野菜は甘くおいしく、化学調味料もやめて自然の味を大切にしています。ちょっとひと休みの畑から見る景色、やさしい風、美しい雲の流れに癒されます。

次号：湯澤（白木）恵子

衛3
佐野 光江

【家庭菜園】



退職を機に、名古屋に転居して4年になります。猫の額ほどの屋上で、家庭菜園をしています。胡瓜やトマトはもちろん、ジャガ芋やサツマイモ等の根菜類にも挑戦しています。鶉の卵位の小さい芋も 愛おしくて捨てられず完食していますよ。

次号：久保（柴田）真智子
（編集委員会推薦）

衛2
橋本（細田）明子

【犬が加わる?!】



両親、私達夫婦、4人年金生活です。私の癒しといえば、ガーデニング、ウォーキング、孫、料理、等々です。そしてこの老人家族に犬をペットに加えようと考えています。そんな事思っているとわくわくです。

次号：玉木（西沢）陽子

衛5
原（久保田）千恵

【北海道犬 さくら】



数年前“犬飼わない？”と息子は有害獣追ひ払い犬のさくらを連れてきた。朝晩の散歩を欠かさず、時には自分で仕留めた鹿の肉を頼張る。成犬で来たせいか犬種のせいか少々警戒心が強かったがすっかり懐いてくれた。段ボール箱が大好き！



次号：向山（倉田）やすみ

臨嶺会会員の近況報告



衛4
藤森（笹岡）澄子

【八王子みなみ野に転居して】

ニュータウンの八王子みなみ野に転居して6年ほど経ちます。町会の総務を頼まれ、お引き受けしました。そのお陰で知り合いも沢山増え、マンション内で親しくなった方とは夫婦単位で、春はお花見、夏はビアガーデン、秋はオータムランチと理由を付け、一品持ち寄りで順番に各お宅にお邪魔して楽しくおしゃべりしております。癒しはガーデニングと旅行です。マンションの一階ですので、秋から春はパンジーとビオラ、夏はインパチェンスとサフィニアと一年中花を絶やさない様になっています。主人も毎朝庭の芝生や植物の世話で元気をもらっている様です。私は土をいじっている時は本当に何も考えなくていいので好きです。最近はお引っ越し記念に植えたモッコウバラの成長が凄くて塀が壊れるのではと心配しております。海外旅行はここ数年はカナダ、クロアチア、オランダ、ベルギーなど年一回位のペースで行っております。最近フィットネスクラブにも通い始めました。病院にお金を払う前に自分の健康のために投資しようと考えています。

次号：酒井（篠原）和子（編集委員会推薦）

衛6
石田（竹内）章子
（松本市立病院）

【サンセベリアの花】



4号鉢から育てたサンセベリア。株分けと葉挿しで増やし、十数年経って大小あわせて7鉢に。7年前、百合のような強い香りの花を咲かせ、今年また、花をつけました。今度はいつになるかしら？この年まで、検査技師として働けたことを幸せに思います。人と人とのつながりに感謝の思いでいっぱいです。

次号：平林（大槻）勝子

臨1
平澤（宮沢）多津子
（社会福祉法人 林の杜）

【最高の仲間たち「フラ・ブルメリア」】



もう10年以上前に検査室を離れ、今は社会福祉法人林の杜の事務局長。リフレッシュで始めたフラダンスは私を癒し、また見て頂く皆さんにも笑顔を与えることができます。なにより変身願望を満ちし、体力維持・ボケ防止には最高です。

次号：佐野（中島）由美子（編集委員会推薦）

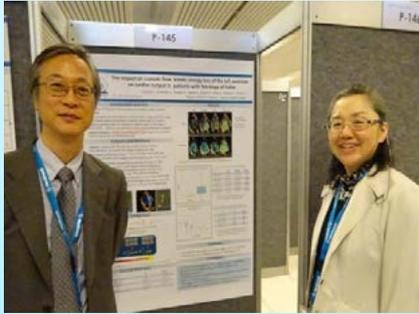
臨2

次号：柳澤（平島）美奈子（編集委員会推薦）

臨嶺会会員の近況報告

短1
齊川（大輪） 祐子
（長野県立こども病院）

【私の職場】



ヨーロッパ小児循環器病学会
「安河内先生と」



チェスキークルムロフ

現在私は長野県立こども病院に在籍し、心エコーに携わっています。今年5月にプラハで行われたヨーロッパ小児循環器病学会に参加させていただき、「Best image Abstract」の2位を頂くという幸運に恵まれました。本年度で定年になります。

次号：吉澤（西澤）久美子

短2
肥後（北原）美千代
（御殿場石川病院）

【自然に感謝】



庭に植えたパセリにアゲハ蝶の幼虫。捕食者に襲われること度々でしたが、難を逃れた一匹が蛹になり羽化の瞬間に出会えました。そのなんとも鮮やかな美しさ！蝶が、狭い庭の小さなパセリをよく見つけてくれたと、感激でした。今は、パートの仕事をしながら月に1回は認知症の始まった両親の世話に、中央道を神奈川から信州の伊那まで車を走らせてます。老いていく親の姿に教えられる事がいっぱいです。四季折々の自然の見せてくれる変化が最大の癒しになっています。

次号：高木（木下）成美
（編集委員会推薦）

短6
奥本 正光

【私の職場と癒し】



臨床検査技師を辞めて早25年も経ちました。現在、自分の癒しどころか他人の癒しのため日本一の旅館でマッサージの仕事をしています。昼は週2日介護老人保健施設で事務長もどきを、他日は訪問マッサージ、夜は旅館と老体には厳しい日々です。

次号：高見澤（大貫）文江
（編集委員会推薦）

短3
浅地 久恵
（長野赤十字病院）

【皆様、お元気でしょうか】



当院検査部の信州大学卒業生

現在も、採血マシンの片腕として毎日がんばっております。「疲れた疲れた」と言いつつ……。昨年は長野県内の温泉1ヶ所1回12ヶ所入浴可という物見湯産手形を購入し、日常を忘れてゆっくりくつろいで参りました。うふ！

次号：井手（桜井）文子

臨嶺会会員の近況報告

短4
依田（大井）順子

【最近の私】



検査技師の仕事は長女出産と共に引退し、二人の娘を育てて来ましたが、子供も成長したので、最近は主人と共に小旅行を楽しんでいます。

次号：重田（加藤）敦子
（編集委員会推薦）

短5
中村 潤子

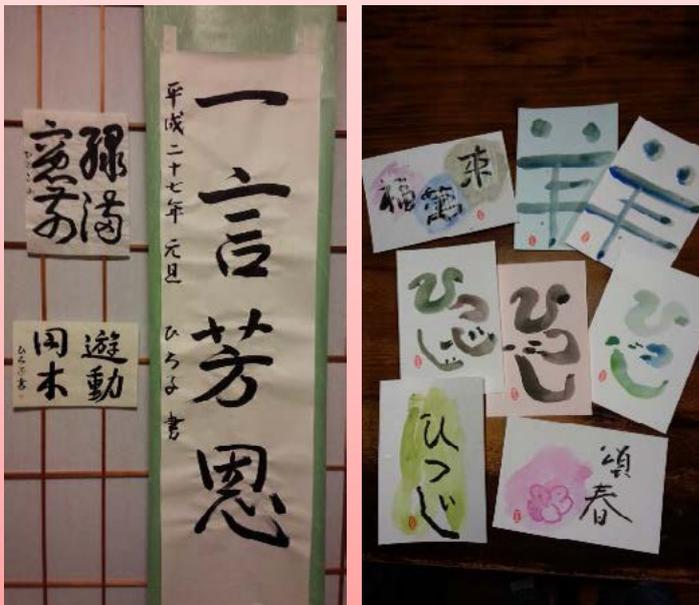
【私の癒やし】

スポーツジムに行き始めた時に、興味があったのでヨガのレッスンに出てみたところ、インストラクターさんに「身体が硬いね」と言われてしまいました。そこで身体が痛かったけど、一か月我慢してストレッチに励んだら、なんとか身体が柔らかくなりました。今では他人から「身体が柔らかいのね」と言われるくらいになり、何日かストレッチが出来ない日があっても元に戻るということもなくなり、ストレッチが心身共に私の癒やしになっています。

次号：河西（百瀬）久美子
（編集委員会推薦）

短7
小口（唐沢）ひろ子

【墨の香りに癒されています】



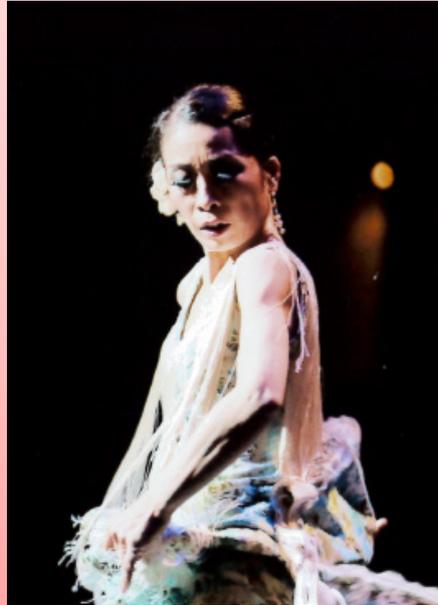
下の子が大学進学のため家を離れ、とうとう夫婦二人暮らしに・・・
心と時間の余裕ができ、かねてからやりたかった書道を始めました。なかなか上達しないけれど、墨の香りに包まれて無心で半紙に向かう時、至福のひと時です。

次号：丸山（榊間）靖子

短8

中越（小出）りつこ
（信州大学医学部附属病院臨床検査部）

【カミングアウト】



短大を卒業して30年以上が過ぎました。あまり熱心に勉強せず、やっと卒業した私がずっと検査技師の仕事に携わって来られたのは、優秀な先輩、熱心な後輩と仕事の仲間にもまれていたためだと思います。そしてもう一つ、仕事とは別の大切な時間があつたことも仕事を続けられた要因と考えます。私のダンス好きをご存じの方は大勢いるとは思いますが、それを目撃した方はほんの一人か二人かと。ずっと内緒にしておいたのですが、この機会に公開してまいります。

次号：篠ヶ瀬（黒柳）仲子
（編集委員会推薦）

短9

高原 幸代
（福井県嶺南振興局二州健康福祉センター）

【環境衛生監視員として】



環境衛生監視員とは、理容師法・美容師法・クリーニング業法・旅館業法・公衆浴場法・興行場法・建築物における衛生的環境の確保に関する法律（建築物衛生法）等の規定により立ち入り検査を行う者で、私の場合は本学本学科卒業ということでの任用資格です。ちなみに、私の得意とする分野は建築物衛生法で、平成24年には建築物環境衛生管理技術者の免状を取得しました。

勝山市には全国的に有名(?)な福井県立恐竜博物館があります。この博物館 延べ床面積が3,000m²以上あるので特定建築物に該当し、建築物環境衛生管理基準に従い維持管理することが義務づけられています（努力義務です）。

平成30年には福井県で国民体育大会が開催され、県内各地での競技が予定されています。是非、この機会に福井へお越しください。

次号：長澤（中村）睦子

臨嶺会会員の近況報告

短10
石川（伊藤）実枝子
（地域医療機能推進機構 中京病院）

【私の癒し】



医師から人工股関節は避けられず現状維持のため体重管理と筋肉強化を通告され、夫と共にプールに通い2年。人間、浮く訳ないと拒否した背泳ぎは得意となり、孫も10か月からプールデビュー。1歳半になります。

次号：佐久間（松井）光子

短11
喜多村（三澤）尚子
（長野県立こども病院）

【奥深いんです】

近頃凝っているのが『包丁研ぎ』です。「えっ、アブナイ人になってしまったの…」なんて言わないください。以前勤めていた食肉衛生検査所で、職員の皆さんが使っている検査刀の切れ味の良さに感動してお話を聞くと、料理用の包丁も切れ味で出来栄えが全然違ってくるんだよと言われたのがきっかけです。早速砥石を購入して研いでみたら、それまで使っていた簡易研ぎ器とは違い、トマトがすーっと気持ちよく切れ、キャベツの千切りもまるで自分の腕前が上がったかのような感じでした。それ以来、はまっています。砥石をお持ちでない方はぜひ試してみてください。包丁研ぎは思いの外奥深く、集中できるストレス解消にもなります。

次号：腰原（奥原）美紀

短12
丸山（宇留賀）美奈子

【golf is life】



グリーン上に鹿さん観覧

皆様こんにちは。私は周りの方々の御協力のもと超音波検査士を取得できました。有難うございました。さて私の癒やし、それはゴルフです。バーディとった時は体がスーッとします。ゴルフ人生これからも歩いていきます。

次号：武藤（深尾）晴美

短14
美野（畑）敦子

【北陸新幹線】



縁あって、糸魚川に暮らすようになり、14年経ちました。医短に通っていた頃には想像もつかなかったことです。田舎だった糸魚川も、北陸新幹線の開通により、活気づいてきました。長野に東京に金沢にと、出掛ける楽しみが増えました。

次号：服部 和美

短13
高橋 資子

【アロマテラピー】



崩し気味の体調を整えようと、昨年気軽に始めたアロマテラピー。
香りの持つ癒しの効果に興味を持ち、マイペースな勉強でアロマテラピー検定1級取得しました。そして今はリンパトリートメントの勉強中です。臨床検査とは違う形ですが、人が健康でいられるお手伝いができれば良いなと思っています。

次号：山本（鈴木）エリカ
（編集委員会推薦）

短15
今村（栗幅）真理

【私の癒し】



寺院「悠悠」



翡翠の白菜「玉、五徳」

最近になって癒しといえば旅行、温泉、観劇鑑賞、気心の知れた友人との食事になってまいりました。皆さまいかがお過ごしでしょうか。
今夏は夫婦で台湾に行き、かじった程度の中国語を使おうと意気込んでみるも撃沈、残念ながらGoogle頼みとなってしまいました。
老後は私たちも台湾の方たちのようにゆっくりとした時間を過ごして生きたいものです。

次号：黒田 美奈子
（編集委員会推薦）



短16
内田（田幸）美咲
（北信総合病院）

【私の楽しみ】

白飯弁当が3つ。ふりかけはパリパリにこだわる息子と主人と私のお弁当です。平日の朝は主人と弁当作りに四苦八苦。栄養バランス、彩り、品数に大変ですが楽しみでもあります。来春からは娘も進学。弁当4人前です。

次号：大庭（鈴木）良枝
（編集委員会推薦）

臨嶺会会員の近況報告



短20
千野 忍
(松本協立病院)

【アロマの香りに癒されて】

卒業以降、我らが母校のある松本市で臨床検査技師として頑張っています。そんな日々の疲れを、その日の気分でブレンドしたエッセンシャルオイルをつけたり香ったりして癒されています。とても奥深い世界です。

次号：久保田 佳代

短17
白石（篠原） 淑子
(長野赤十字病院)

【家族と仕事】

就職して22年になります。これまで、確実に努力を重ねることこそ大切と考えて、頑張ってきたつもりでしたが、結局のところ、多くの方々に助けられながら、何とか仕事を続けられたというのが実情でしょうか。そんな「私の癒やし」は家族です。海外赴任中の主人とは遠距離ですが、離れてこそ知る家族の大切さを噛みしめています。夏休みや連休を利用して、会いに行くのが楽しみです。苦手な英会話だって頑張ります。でも、家族揃っての海外生活には、なかなか踏み切れません。子どもの学校など理由はありますが、やっぱり検査の仕事が好きなんです。パパしばらくはごめんね。

次号：井藤（鈴木） 真奈美



短18
吉田（福井） 秀子
(真生会富山病院)

【いつまで続くかな...】

私には7歳と5歳の息子がいます。仕事・家事・子育てに追われて、休む暇もななくクタクタの毎日。そんな私に息子達が毎晩マッサージをしてくれます。私にとってこの時間が何よりの癒しです。ずっと続くといいな。

次号：高田（武田） 智恵子



南長野運動公園 総合球技場にて
(2015.5.28)

短19
橋本（直江） みちる
(穂高病院)

【サッカー観戦】

現在、安曇野市内の病院に勤務しています。小6の娘の所属するサッカーチームのみなで、なでしこジャパンVSイタリア女子代表の試合を観戦してきました。なでしこの勝利に興奮し、発散し、忙しい日々のちょっとした癒しになりました。

次号：堀田（前田） 奈津江



短21
山口（宮坂）美穂

【不妊治療の現場で】

現在、私はキティーちゃんが大好きな小学1年の娘を育てながら、岐阜県多治見市の産婦人科の医院で働いています。働きながら臨床エンブリオロジスト（胚培養士）と体外受精コーディネーターの資格を取得し、不妊で悩んでいる患者さんに幸せを届けられるよう日々努力しています。

次号：丸山（濱）尚枝
（編集委員会推薦）

短23

次号：丸山（洞沢）加奈子
（編集委員会推薦）

短25

川田（齋木）静香

【日々、一生懸命！】



13年間勤めた病院を退職し、結婚出産を経て、名前の如く「静か」に家で子育てを真最中です。前職場でオーダーリング導入に携わり、医療情報への道にはまり、そこから主人との縁も得ました。そのうち復職し、医療情報の勉強も再開したいなと思っています。

次号：太田（斎藤）香織

短22
重藤（久保田）聖子
（信州大学医学部附属病院臨床検査部）

【梅ジュース】



青梅がスーパーに並んでいたのを見て、梅ジュースを作ろうと思い立って今年は挑戦してみました。といっても、梅と氷砂糖を瓶の中に入れて数週間放っておくだけ。入りきらないくらいぎゅうぎゅう詰めだった梅が、気がついたらいつの間にか皺々にしぼんで、砂糖も溶けてジュースができあがっていました。きょうはホッと一息しようという日に、水やソーダで割ってちびちび楽しんでいます。爽やかな匂いと味が気分転換になります。

次号：佐藤（関口）香苗

短24
土岡（小林）久美
（キッセイ薬品工業中央研究所）

【私と娘のお散歩】



私は、製薬会社の研究所で15年間勤めています。一昨年に出産し、昨年からは仕事に復帰しました。家事、育児、仕事に追われ、忙しく過ごす日々ですが、思わず笑ってしまう娘の変顔に癒され、毎日、頑張っています！

次号：林（堀内）沙織

短26

次号：福島（空山）優子
（編集委員会推薦）

短29

次号：塩澤 愛奈
（編集委員会推薦）

保4

次号：住友（林）奈津美
（編集委員会推薦）

臨嶺会会員の近況報告



短27

福島（山口）香織
（ジェノダイブファーマ株式会社）

【研究のお仕事】

卒業してから2014年度末までは、とある大学の研究室で遺伝子研究の実験業務をこなす仕事をしていました。研究終了とともに転職に迫られましたが、手に職とは有り難いもの。大学の研究室での実験技術を高評価していただき、現在もジャンルは異なりますが実験業務に携わっています。人にも恵まれ、笑顔の絶えない毎日を過ごしています。検査技師とは関係のない仕事のようにですが、実験の中で学生時代に取得した知識も生かされ、時には『あの先生の授業でやったなあ。』と懐かしく蘇ってくることも。そんなこんなですので、検査技師の方も研究のお仕事で活躍されているんじゃないのでしょうか。これからも、研究のお仕事を続けられたらと思います。

次号：星野（小林）麻衣子

短28

徳倉（小塩）幸子
（西尾幡豆医師会健康管理センター）

【毎日勉強】

私は現在、健診センターにて超音波検査に携わっています。毎日、腹部や乳腺、頸動脈の検査を行っています。健診の仕事は、大抵午前中に終わるので、結婚して10年、午後は嫁ぎ先の珠算塾・習字教室を手伝っています。ある勉強会に参加した時講師の先生が、「先生と呼ばれる人は、一生勉強して成長していかなければならない」とおっしゃっていました。どちらの仕事も毎日が勉強です。私も日々成長していけるように頑張っていきたいと思います。

次号：鬼頭（松山）早紀

保2

松下 万里（BIJU）
（名古屋医師協同組合名古屋臨床検査センター）

【私の職場】

こんにちは、BIJUです。皆さん相変わらずお元気でしょうか。松下万里って誰?! 思われるかもしれませんが、私去年結婚して、日本で通称名が松下万里になりました。国籍は変わらないので、職場ではBIJUのままになっています。卒業してから色々将来の進路に迷ったこともありましたが、今ここにいられるのがきっと日本とのご縁があったからだと思います。就職してからあっという間に7年も過ぎてしまいました。今は主に輸血と感染症の検査を行っています。夜勤では慣れない中で一人で検査する不安もありましたが、日々の反省と勉強を繰り返しながら少しずつ成長することができてとても嬉しかったです。周りの知識豊富な先輩に色々助けてもらったことがとてもありがたく、自分も頼れる先輩になれるように努力していきたいです。

次号：中田 裕美
（編集委員会推薦）

臨嶺会会員の近況報告

保1
山内 みゆき
(松坂中央総合病院)

【いつのまにか。。。】

就職してもう9年になりました。そんなに成長できていないように思いますが、当直で慌てなくなりました。うちの病院では10年になると、記念に鳩時計がもらえるそうです(うーん。嬉しくない。。。)。そろそろ転勤もあるかな？

次号：井上(山本) 紗綾佳

保3
亀澤 弘憲
(都留市立病院)

【結婚しました】



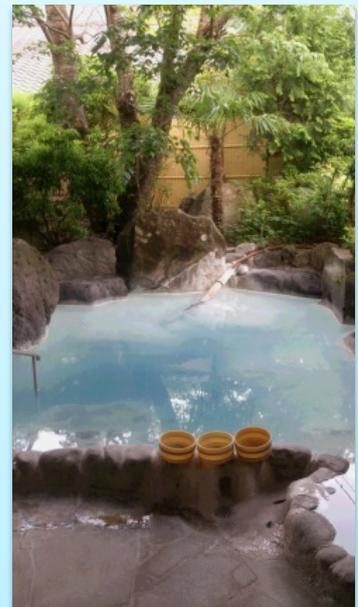
かたい桃は皮付きで

周囲の波に漏れず先日結婚しました。地元山梨での生活は情報や文化のスピードが良くも悪くもゆっくりですが、自分は相変わらずのマイペースでやれています。家族が増えるといういろいろな視点が変わって面白いものです！

次号：菊川 未希
(編集委員会推薦)

保5
宮崎 彩織
(糸魚川総合病院)

【私の癒し】



メタケイ酸の青い温泉

私の癒しは旅行に出かけることです。写真は大分県の湯布院のものでメタケイ酸を多く含んだ青い温泉です。色々な場所に行ってその土地ならではのものを体験しリフレッシュすることが日々の活力の源です。

次号：桃井 真理恵

保7
小林 純
(長野県立こども病院)

【私の癒し】



私の癒しは空港散策です。写真は先日訪れた成田空港です。様々な国の飛行機を眺めるのに加え、大きい空港では食事や買い物もできるので一日中楽しめます。これからも大空へ飛び立つ飛行機に心を癒されて頑張ります。

次号：浜 直幸

臨嶺会会員の近況報告



レガッタ大会

保6
中西 美幸
(諏訪マタニティークリニック)

【文武両道を目指して】

一般検査と遺伝子検査を中心に勤務し、4年目を過ごしています。仕事も落ち着き、ソフトバレーサークルや、諏訪湖でのレガッタ大会への参加等、楽しみも増えてきました。

次号：山崎 駿介



6月のキャンプ

保8
山本 麻瑚
(松坂市民病院)

【就職して2年目】

私は生理検査に配属され、腹部・体表エコーを主に心電図や肺機能検査に携わっています。日々、悪戦苦闘しながらも楽しく過ごしています。また、仕事外でも先輩方とキャンプに行ったり、ご飯を食べに行ったり、和気あいあいとした職場です。

次号：松尾 睦紀

保9
齋藤 さとみ
(信州大学医学部研究科 病因・病態検査学領域博士前期課程)

【長野研究室】

卒業生のみなさん、お元気ですか。現在、私は大学院で、長野則之教授の指導のもと、4人の卒研生たちと一緒に食肉から検出される耐性菌について研究しています。7月までは直属の先輩もおらず静かな研究室でしたが、いまでは見学に来てくれる3年生も交えて日々楽しく学んでいます。実験をしていると、結果が出ず悔しい思いをすることもあります。そんなとき、研究室のみんなで休憩時間にお茶を飲みながらいろいろなことを話していると、気持ちが落ち着いてまたがんばろうと思えます。これからも日々大切に、実りの多い2年間になるよう過ごしていきたいです。

次号：田沼 奈津紀
(編集委員会推薦)

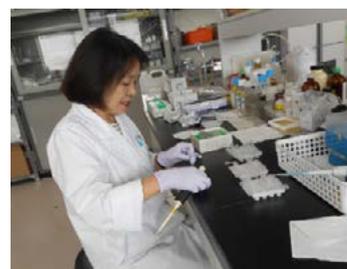


お疲れ様でした 寺澤文子先生

平成27年8月末日をもって退職し、9月から金沢市郊外の丘の上にある北陸大学で、臨床検査学・臨床工学を学ぶための新学部設置準備室に勤務しています。

定年まであと残りわずかとなった時期なのに、すっかり馴染んだ信州大学を出てなぜはるばるこの地に来たのかと自分でも不思議な気もしますが、どこかに新しいものに挑戦する気力がまだ残っていたようです。今は信大の頃とは全く別の時間が流れており、

日々静かに事務的な仕事をしていますので、いつも周りに学生たちの元気な姿や笑い声があふれ、私自身も授業や実習、実験にあたふたと動き回っていたあの頃が本当に懐かしく思い出されます。しばらくの間、金沢にお住いの卒業生たちとも交流しながら、こちらの生活を楽しまたいと思っています。今は快適な北陸新幹線で頻りに松本と行き来していますし、あと少しの現役生活の後には松本に戻りますので、またよろしく願いいたします。



ようこそ 病因・病態検査学領域 木村文一先生



平成27年5月1日付で病因・病態検査学領域、病理・細胞診分野の講師として着任致しました木村文一と申します。

私は医療現場や研究室で臨床検査技師、細胞検査士として日常業務や研究を行ってまいりました。そして研究で得られた結果の評価を簡単に、そして客観的にこなすことを目指し、工学部で研究員として画像解析技

術を学んでまいりました。医療現場での技術の発達は日々目覚ましいものがあります。私自身も乗り遅れないように日々学びつつ、そして信州大学の伝統を守りながら、これまでの経験や研究をいかした実践的な学生教育を心がけていきたいと思っております。信州大学の教員1年生であり、至らないことのほうが多いと思いますが、早く一人前になれるように努力していきたいと思っております。よろしくお願い致します。



ようこそ 生体情報検査学領域 樋口由美子先生



本年度4月より、保健学科検査技術科学専攻に着任致しました。本学医療技術短期大学部卒業生です。卒業後は信州大学医学部附属病院臨床検査部に勤務しておりました。皆さまの中には、「血液検査室の佐々木さん」として記憶して下さっている方もいらっしゃるのではないのでしょうか。その後、本学医学部附属病院先端細胞治療センターで、再生医療・細胞治療に6年間



携わってきましたが、今回縁あって母校に戻って参りました。現在は、免疫・血液・一般・生理と幅広く実習に入っています。

在学中、先生方はとても優雅に見えましたが、私はといえばドタバタと慌ただしく過ぎていく日々。「ああ、先生って大変なのね・・・」と、余計なお世話と知りつつも、我が子たちの担任の先生にまで同情する毎日。

しかし、「大変」とは大きく変わる事。自分が大きく変わるチャンスを得たのだと思います。精一杯頑張りますので、皆様方のご指導をよろしくお願い申し上げます。

カミングホーム

卒業後、同級会も頻繁ではありませんが適度を実施しておりましたが、2000年前後を最後にぶつりと途絶えておりました。2015年10月31日、浅間温泉「帰郷亭 ゆもとや」に於いて、卒後20年のカミングホームを実施致しました。本来は2011年に実施すべきでしたが、なかなか調整できずそれから4年が経過してしまいました。

今年はどうしても同級会を開催したい理由がありました。それは2014年に級友である東 靖代さんが病気で亡くなり、みんなで偲びたいという思いがあったからでした。彼女が生前（療養中）同級会開催を楽しみにして

短大15回生
石川 伸介

いたと聞き、カミングホームを先送りにした事がとても悔まれました。東さんを送った級友たちに状況を話してもらい、当時の思い出話で盛り上がり、偲ぶことができたと思います。

また今回の同級会では、密かに担任の高宮 脩先生の退職祝いと再就職した長浜バイオ大学バイオサイエンス学部教授の就任祝いも企画しており、サプライズで心ばかりの記念品を贈呈しました。高宮先生にとって僕たち



東さんを偲び、そして高宮先生ともゆっくり話をする事ができ、有意義なひと時を過ごす事が出来ました。

15回生は、医短に赴任されて受け持った最初のクラスで、僕たちとの思い出を鮮明に覚えておられるとのことでした。とても嬉しく何か特別な繋がりを感じます。



今回連絡を取り合った方法は、メールをはじめ、SNSやLINEを利用して取り合えたのが3割程度、残りは名簿を取り寄せて郵送する手段で取りましたが、結局、参加者のほとんどはLINE等でやり取りした級友がほとんどでした。

東さんが僕ら15回生を再び廻り合せて下さったと言って良い、今回の同級会。これを機にこれからは定期的に同級会をやっていきたくので、今回参加できなかったみんな、LINE、SNS、メール…簡単に連絡が取れる手段を教えてください。



steinbach.shinchan@gmail.com

こじ記

～松本の魅力を求めて三千歩～

お久しぶりです。昨年は『こじ記』をお休みさせていただきましたので、2年振りの記事となります。ここ数年、松本市街地では大きな変化(?)が様々な場所で起きています。今回はそんな中でも昔から建物があったであろうと思われる3カ所にスポットを当ててみたいと思います。ちょっといつもの毛色が違いますが、お付き合いください。

七福ボウルという名を聞くと“ピン!”とくる方も多いのではないのでしょうか。松本市中央2丁目(パルコのそば)に位置していた誰もが一度は目にしたことのあるビルです。松本市内で最も長い歴史を誇ったボウリング場であり、利用したことのある方も沢山いたのではないのでしょうか。施設の老朽化などを理由に2012年に廃業となり、昨年ビルも解体されました(写真)。今後は、2017年の完成を目標に信濃毎日新聞社の松本本社ビルが建てられる予定となっています。市民芸術館を設計された設計士の方に依頼しているようで、どのような建物ができあがるのか楽しみです。



<http://aokitoyoko.com/wp-content/uploads/2015/03/20150324-km-03.jpg>

松本カタクラモールと聞いて場所がすぐに思い浮かぶでしょうか? ジャスコ東松本店と言われれば分かるという方もいるかと思いますが。1981年に開業した大型スーパーであり、買い物だけでなく様々なイベント等の参加で足を運んだことのある方もいるのではないのでしょうか。また、多くの信大生がアルバイトをしていた記憶があります。実のところ、2015年3月をもってカタクラモールは閉店となり、現在は更地となっています。こんなに広がったかなと思うほどの土地なんですよ(写真)。閉店となった理由は、新たにイオンモールを開業するためと聞いています。果たしてどんな総合スーパー(?) or 総合アミューズメントパーク(?)が完成するのでしょうか。完成が待ち遠しいです。



西友元町店、このお店を利用されていた方も多いのではないのでしょうか。私が在学中に24時間営業となり夜中でも買い物ができるため、非常に助かった思い出があります。実は先に触れたカタクラモールとほぼ同時期(こちらのほうがやや早く)に一時的に閉店し、店舗の建て替えが行われました。当初の予定では2016年春に開店とのことだったのですが、予想に反する早さで、なんと2015年冬に新装開店となりました。なんだか看板や建物の雰囲気も変わり進化版西友といった感じが仕上がっています。これから多くの学生がお世話になるのかなと勝手に保護者気分です。私も帰りが遅くとも安心して買い物ができそうです。ちなみに長野県の西友は新装開店がかなり多いみたいです(笑)。



http://facility.homemate-navi.com/pubuser1/pubuser_facility_img/4/2/0/000000000000000275024/0000002071/00000000000000275024_0000002071_1.jpg

このように、ここ数年で松本の街は大きく様変わりしつつあります。次々と便利な施設ができることは生活をする上で、非常に嬉しいことです。ですが、昔からあるものが残り続けることも味わいがあり、とても魅力的ですよ。新しい松本と古くからある松本が上手く調和した街になってくれることを願っています。

松本便り



9月「スカパン」

私は信濃毎日新聞社の本社建設予定地にステージを組んだ「空中劇場」で観劇しました。伊勢町通りが本町通りに突き当たるところです（写真）。

公演は夕方から始まり周囲が段々暗闇に消えていくとスポットライトに照らされた役者だけが際立つ。救急車のサイレンや車のクラクション、石焼〜き芋〜♪、そんな音も排除することなく取り込む不思議な舞台でした。

スカパンとは、2015年6月にヨーロッパ3大演劇祭の一つシビウ国際演劇祭に招聘された、まつもと市民芸術館の串田和美芸術監督の代表作。松本凱旋公演は市内3ヶ所を会場としてうち2ヶ所が野外だった。

「オレンジ」エキストラ

松本市を舞台とした青春SFラブストーリー-コミックス。全5巻のうち4巻に出てくる運動会のシーンを明科高校で撮りました。娘と私、保護者席で応援の演技しました。映画撮影って何度も何度も同じことを違う角度から撮ったり音だけ撮ったり、こんなに時間かけてやるんですね。なま太鳳ちゃん、なま賢人くんに会えた一日でした。

松本には大小のステージがあり最近ではわざわざ出かけなくても観劇に困ることはありません。演劇が身近になった松本のレポートです。（短11 赤羽昌子）

演劇三昧 松本



空中劇場



公演直後の石川伸介さん

10月「まつもと演劇祭」

10月30日から3日間連続で演劇団体が公演をする演劇のお祭り。公演時間はだいたい2時間が多いですがここでは1時間。今年は10団体5会場。会場が市街地に点在しているので自転車移動が便利。ひとつ見たら次の会場へ走ります。2000円で全公演観られる激安パスポート！私は6公演観ました。

12月「フィガロの結婚」

まつもと市民オペラ第5回公演（モーツァルト作曲）編集長の石川さんが毎回出演している市民オペラです。最初はお付き合いで行っていましたが（笑）最近では楽しみになってきました。娘も石川さんを舞台上に探して「いたいた」と言いながら観ていました。合唱団のメンバーが小道具などを持ち込んだり、歌がないときも背景として舞台にいたり、新鮮な演出でした。

卒業生の進路



保健学科10期生 卒業生43名 (H28年3月卒業) H28年2月1日現在 () 内人数
就職：35名

信州大学医学部附属病院(1)、松本市立病院(1)、相澤病院(1)、松本市医師会医療センター(1)、諏訪中央病院(1)、昭和伊南総合病院(1)、市立大町総合病院(1)、長野中央病院(1)、長野県立病院機構(3)、長野県職(1)、甲府共立病院(1)、新潟県職(1)、原町赤十字病院(1)、東京都病院(1)、虎の門病院(1)、三井記念病院(1)、北里大学病院(1)、湘南鎌倉総合病院(1)、深谷赤十字病院(1)、千葉市立病院(1)、セントラル医学検査研究所(1)、国立病院機構高崎総合医療センター(1)、JA愛知厚生連豊田厚生病院(1)、大雄会病院(1)、静岡市立静岡病院(1)、浜松医療センター(2)、岐阜メイツ睡眠クリニック(1)、金沢医科大学病院(1)、八戸市立市民病院(1)、市立札幌病院(1)、国立循環器病研究センター病院(1)、松山赤十字病院(1)

大学院進学：7名

信州大学大学院医学系研究科保健学専攻(博士前期課程)(4)、信州大学大学院医学系研究科医科学専攻(修士課程)(2)、群馬大学大学院医学系研究科(1)

その他進学：1名

大阪ハイテクノロジー専門学校 臨床工学技師専攻科(1)

大学院医学系研究科博士前期課程保健学専攻 修了生6名

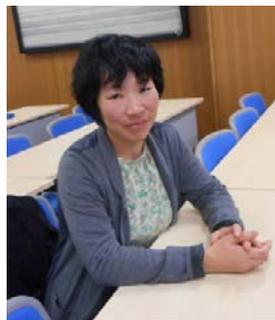
就職：6名

信州大学医学部附属病院(2)、丸の内病院(1)、自治医科大学附属病院(1)、岐阜県総合医療センター(1)、大塚製薬株式会社(1)

大学院医学系研究科博士後期課程保健学専攻 修了生1名 (内社会人1)

2015年のできごと

- 2月13日(金) 接遇対策セミナー (3年生対象、臨嶺会として支援)
- 3月21日(土) 信大松本地区卒業式・学位記授与式
- 4月 4日(土) 信大入学式
- 11月17日(火) 就職・進学支援セミナー (2・3年生対象、臨嶺会として支援)
講師：岡村 杏子さん (諏訪マタニティークリニック 短21回生)
重藤 聖子さん (信州大学医学部附属病院 短大22回生)
滝脇 正貴さん (日本電子株式会社 保2期生)
岡田 元さん (JA愛知厚生連安城厚生病院 臨床検査技術科技師長)



開校50周年記念臨嶺会総会のご案内

今年、昭和41年（1966年）に医学部附属衛生検査技師学校が開校されて以来、50周年を迎えます。また、定例の第16回総会開催の年となっております。

下記の通り **開校50周年記念臨嶺会総会** を開催いたします。改めて開催のお知らせをいたしますが、是非多くの会員の皆様にはご出席くださいますよう、お願い申し上げます。

日時；平成28年9月10日（土）

会場；信州大学医学部保健学科中校舎1階 211 講義室

内容；総会・講演会、懇親会（旭会館 2階「ライジングサン」）

事務局からのおしらせ

カミングホーム

平成28年の該当は次のとおりです。

卒後10年：保健学科1期生（平成19年3月卒）

卒後20年：短大21回生（平成9年3月卒）

卒後30年：短大11回生（昭和62年3月卒）

卒後40年：短大1回生（昭和52年3月卒）

臨嶺会として補助、協力（例えば構内見学など）をいたしますので、同級会を開催し旧交を温めてください。

すでにカミングホームの該当年が過ぎていてこれから同級会を開催する学年につきましても、補助をしますのご連絡ください。

卒業後の証明書申し込み方法

卒業証明書、成績証明書等の申込みは、郵送および窓口のみの受付となります。詳細は「信州大学医学部」ホームページの「卒業生の方へ」の「卒業証明書発行について」をご覧ください。

<http://www.shinshu-u.ac.jp>

[/faculty/medicine/alumni/certificate.html](http://faculty/medicine/alumni/certificate.html)

編集後記

今年、開校50周年記念臨嶺会総会が開催されます。記念総会ですので、多くの同窓生に参加していただきたいと思いますが、特集にありました、東谷さんちの「ふらのメロン1玉入を3名様にプレゼント」というBIGな企画を、この総会参加者の中から抽選したいと思います。お楽しみに・・・。

近況報告では写真掲載率も多くなり、楽しい企画として、趣旨・意図を理解して下さっている会員が増えており、大変嬉しく思う一方で、今回号ではとうとう非投稿という事態も出てしまい、編集委員会としてもまだまだ力不足を実感しております。皆様で作上げていく会報ですので、ご協力お願い致します。

今回、是非同窓生の皆様に読んでもらいたいと投稿された記事を「同窓生からの投稿」として掲載しました。このように内容に関しては吟味致しますが、掲載可能ですので、何かございましたら是非ご投稿下さい。

編集委員会では、常時、特集記事を募っております。何か興味深いことがありましたら是非ご一報ください。お待ちしております。

(2016.02.01 石川伸介)

会費未納の方へ

臨嶺会は皆様の会費により運営されております。会費未納の方には、平成25年の第34号までは未納金額のお知らせを同封していましたが、昨年より同封いたしておりませんが、未納の方は下記振込先への納入にご協力ください。また、カミングホームなどの際に納入のお願いをさせていただきます。

振込用紙の通信欄に衛・臨・短何回生、会員番号を必ず記載してください。

振込先 ゆうちょ銀行

口座番号「00520-0-20187」

加入者名「臨嶺会」

なお、保健学科卒業生は保健学科同窓会に納入ください。

事務局への連絡方法

改姓・住所・勤務先等の変更が生じた場合は、必ず事務局へご連絡くださいますようお願いいたします。方法はメール、ハガキ、封書いずれでも結構です。

臨嶺会会報 第37号

臨嶺会会長	奥村伸生
事務局	小穴こず枝
	樋口由美子
編集委員会	石川伸介
	川崎健治
	重藤聖子
編集協力	沖村幸枝
	赤羽昌子
	小嶋俊介

印刷 株式会社成進社印刷

臨嶺会事務局

〒390-8621 松本市旭3-1-1

信州大学医学部保健学科検査技術科学専攻

Tel. 0263-37-2387（ダイヤルイン）

Fax. 0263-37-2370（保健学科事務部）

e-mail kensa@shinshu-u.ac.jp

臨嶺会ホームページ

<http://www.mhoken.jp/rinreikai/>